

令和5年度 社会科

教科	社会科	科目	倫理	単位数	2	年次/コース	高校3年生/特進
使用教科書	清水書院 新倫理						
副教材など	教科書準拠のワーク						

1. 担当者からのメッセージなど(学習方法など)

<p>1. 思想や宗教が生まれた時代背景を理解する</p> <p>2. 人物名・思想のキーワード・著書は正確に押さえる</p> <p>3. 自分に役に立つ思想や考え方はないかな、という興味関心を持って学習する</p> <p>4. 日本史と世界史の文化史と思想史とリンクさせながら学習すると効果的である</p> <p>5. 5W1H「いつ(When)、どこで(Where)、だれが(Who)、なにを(What)、なぜ(Why)、どのように(How)」という6つの要素を倫理の学習でも意識して学習を進めると効果的である いつ、どこで、だれが、なにを、なぜ、どのようにして思想や宗教を展開していったの理解していく</p>

2. 学習の到達目標

○人間尊重の精神に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めさせるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
--

3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	A: 関心・意欲・態度	B: 思考・判断・表現	C: 資料活用の技能	D: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	<input type="checkbox"/> 自ら積極的に考察できる <input type="checkbox"/> 他者と議論しながら、考察を深めることができる <input type="checkbox"/> 必要な情報を集め、活用することができる <input type="checkbox"/> 自分なりの答えを根拠とともに示すことができる	<input type="checkbox"/> 課題を解決するために、必要な教科等の知識・技能が実生活の事象・現象・場面とどのように関連しているかを理解している <input type="checkbox"/> 他者に自分なりの理解度を基に、説明することができる	<input type="checkbox"/> 共通テストの資料活用問題をグループワークで取り組ませ、色々な解き方を模索させて共有する	<input type="checkbox"/> 与えられた課題が完璧にこなせている <input type="checkbox"/> 教師から与えられた課題に加え、必要に応じて適宜自ら課題に取り組むことができる
評 価 方 法	自分が興味のあることを学習した内容から選んで深く調べてまとめる場面を設ける	思考問題の課題を課す	解き方をまとめさせて提出させる	確認テスト リフレクションへの取り組み

2	<p>東洋と西洋の思考 4 ことばをめぐる思考 — ことばとともにあること</p> <p>第4編 国際社会に生きる日本人の自覚 第1章 日本の風土と外来思想の受容 第1節 日本の風土と伝統 1 日本の風土と人々の生活 2 古代の人々の考え方 第2節 仏教の伝来と隆盛 1 仏教の移入 — 古代仏教の思想 2 仏教の土着化 — 鎌倉仏教の思想 第3節 儒教の日本化 1 儒教の伝来と朱子学 2 陽明学 3 古学 第4節 日本文化と国学 1 古典美の再発見 2 国学 第5節 近世庶民の思想 1 都市庶民の思想 2 農民の思想 第6節 西洋近代思想の受容 1 西洋文明との接触 2 啓蒙思想と民権論 3 キリスト教の受容 4 国家主義の高まりと社会主義 5 近代的自我の成立 6 近代日本哲学の成立 7 近代日本の思想傾向への反省 第2章 現代の日本と日本人としての自覚 東洋と西洋の思考 5 時間をめぐる思考 — 流れと永遠</p> <p>第5編 現代の諸課題と倫理 第1章 生命と倫理 第2章 環境と倫理 第3章 現代の家族とその課題 第4章 地域社会の変容と共生 第5章 情報社会とその課題 第6章 グローバル化の時代と倫理 第7章 人類の福祉と国際平和</p>				<p>度を基に、説明することができる。</p> <p>○過去問演習・分野別 解き方指導・時間配分</p>	<p>確認テスト 思考問題の課題を出す</p>
---	--	--	--	--	---	------------------------------